

■「シルバー世代の骨折が1週間で改善したケース」

日本ホメオパシーセンター札幌本部

JPHMA 認定ホメオパス No. 0936

JPHMA 認定アニマルホメオパス No. A0132

ZEN メソッド修得認定 No. 0345

【主 訴】

68 歳女性の骨折

- ◆ 朝のゴミ捨てに行く際に凍結路面で転倒し左上腕骨外科頸を皮下骨折
- ◆ 医師から2か月癒合しなければ手術と言われ、家に猫がいるので入院が長期になったらどうしようかと不安
- ◆ 腕を動かさない限り痛みはほぼない

この世代で骨折をするとそのまま寝たきりになり、何か月も骨がつかずボルトを入れる等の手術が必要となる場合があり、その後も痛みで不自由な生活になることが危惧されるので、それを回避すること、また骨折そのものと共に今後の治癒への精神的不安も同時に癒すことを目指す。

【タイムライン】

30 代以降 食事に気を付けるようになり、ゆるマクロビや家庭菜園で自然農を実践
62 歳 夫他界後 一人暮らし
66 歳～ 自律神経失調症と診断されて以来、ホメオパシーをとり入れる
68 歳 12 月 4 日 凍結路面で転倒し左上腕骨を皮下骨折し、翌日 5 日から入院

【入院中の治療・生活】

- ・治療は腕を三角筋で吊り安静にするだけ
- ・抗生物質等の薬は一切、本人の希望でとらなかった
- ・食事は病院食のため自然のものではないが喜び感謝して頂くようにアドバイス

【レメディー選択】

①2018 / 12 / 5

選択の意図・根拠

上腕の骨折に対して、TBR 検索。且つ、骨の癒合の促進、神経の損傷への危惧、長期入院になるのではという不安に対して、ハーネマン著 RA/CK 他より選択

- ① 259 上腕
② 1972 骨の損傷

順位	レメディ	点数	①	②
1	Ruta	6	2	4

●随時： MT) サポート骨 (500ccの水に20滴入れて1日かけてとる)

●1～3日目 Acon. Arn. Ars. のコンビネーション、および Symph. 30C をそれぞれ3～5回/日リピート (1回1粒)

●4日目～
朝 : Ruta 30c
昼 : Hyper. 30c
夜 : Symph. 30c
寝る前： ティッシュソルト (TS) 骨の栄養サポート (21)
※それぞれ1日1回1粒を舌下に入れてとる

➤ MT) サポート骨 : 骨の問題

➤ Acon. (トリカブト)

: MM (RA) より～ 339# 前腕部の骨に引っ張るような刺痛、動作時に生じる
540# 死が近づいてくると言って恐れ嘆く
541# 不幸に遭遇するのではないかという恐れ

➤ Arn. (ウサギギク)

: MM (RA) より～ 608# びくびくとした強い不安感
609# 現在と未来に対して不安に満ち憂慮する
637# 心配、将来の病気のことをびくびくと恐れる

➤ Ars. (三酸化砒素)

: MM (RA) より～ 1012# 不安、びくびくしている
1038# 一人にいる時、病気のことやどうでもいい類のことを考えてしまい、その考えから離れられなくなる

➤ Symph. (ヒレハリソウ) : 骨の創傷治癒促進

➤ Ruta (ヘンルーダ) : TBR 検索でトップのため選択

➤ Hyper. (セイヨウオトギリソウ) : 神経にまで損傷が及ばないようにするために選択

➤ ティッシュソルト (TS) 骨の栄養サポート (21)

: 骨密度というベースを上げることで現在の骨折の状況及び予後経過がスムーズに、また、今後同様の状況に陥らないために選択

【経過】

左) 2018/12/05 骨折レントゲン画像



右) 2018/12/12 骨折癒合レントゲン画像



- ・12月4日転倒・骨折後、患部が癒合したことが12日撮影のレントゲン画像から判明
- ・12月13日に医師から「どこが骨折したかわからないぐらい」と言われた
- ・その後、1週間経過観察のため入院継続し、12月21日に無事退院

【考察】

クライアントは不安や心配事で悪化しやすい傾向があり、「入院が長期になったらどうしよう」と不安に思っていたので、まずは言葉のレメディーとして、「大丈夫。2週間で退院できるようになるから。」と声をかけ、前向きに希望を持ってもらうことから始めました。

元々、あまり薬などはとらず、食生活も自然食を心がけている方でもあるため、足腰の問題はなく、実年齢より骨密度も若いのかもかもしれませんが、70歳近くのシルバー世代でもレメディーでバイタルフォースを活性化することによって、たった1週間で骨折が癒合するということがレントゲン画像から明白になりました。

北国では、ご高齢の方が雪道で転倒すると、そのまま寝たきりになったり、そこからさらに認知症になってしまうということをよく見聞きする状況にあります。医師からも「2ヶ月後も癒合しなければ手術」と言われるのは実際にそのようなケースが多々あるからと思われます。骨折からどんどん弱っていってしまうのではと不安に思う方への希望となるケースだと思えます。

カテゴリー：[急性症状]